

# 令和7年度第3回 支えあいのまちづくり協議体(月島地域)実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体(月島地域)」の令和7年度第3回目を、月島地域で開催しました。

## 1 実施日

令和7年11月28日(金)14:30~16:30

## 2 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 10名

## 3 内容

- ・各メンバー近況報告
- ・前回の振り返り
- ・2層協議体情報交換会報告
- ・意見交換

## 4 出席者近況報告

地域の様子や高齢者の現状について、各々から報告を行った。

- ✓ 一人暮らし高齢者と連絡が取れず心配している(電話・訪問でも応答なし)。民生委員時代に把握していた緊急連絡先が不明、弟宛に手紙で対応中。
- ✓ 一人暮らしの高齢者調査を9~10月に実施。毎年心配になる方が数名いるが、個人で対応できる範囲に限界があるため、対応はおとしより相談センターに任せている。
- ✓ 近所の高齢者には挨拶や会話を心がけている。挨拶できる関係性は大切だと感じている。
- ✓ 中央区主任ケアマネージャーの会主催で地域のつながりをテーマにしたイベントを開催予定
- ✓ JKKと済生会中央病院が共催する都営アパートでの「腸活」イベントが満員。住民の健康講座への関心が高い。東京都アプリによるポイント付与が参加促進に影響。
- ✓ 医療現場ではインフルエンザの流行をひしひしと感じている。急な寒さで体調不良や睡眠障害を訴える方が増加している。
- ✓ 施設職員から利用者が急に亡くなった際にモチベーションが下がるという現場の声を聞き、家族の許可を得て葬儀の様子を写真付きで記録し、冊子にまとめて施設へ届ける取り組みを開始。利用者だけでなく支える職員の心にも寄り添うことを重視している。
- ✓ 訪問看護職員向けにエンゼルケアの無料セミナー実施したところ好評。
- ✓ 葬儀会社としてグリーフケアを目的とした集いを検討中。共通経験を持つ人同士が語り合える場を提供し孤立防止を目指す。
- ✓ 区内でリハビリ特化型デイサービスが閉鎖するなど高齢者サービス資源が不足している。人手不足や採算性が課題であり、国の処遇改善が必要。介護保険サービスに頼らないサロン等地域活動が重要。
- ✓ 普及啓発型の地域ケア会議では、勝どき1丁目の高齢化や都営住宅の特徴を議論。自治会の取り組みの熱心さや個人情報の壁など課題も浮上。
- ✓ 母親が圧迫骨折し、介助や環境調整を通じて「心のリハビリ」の重要性を実感。
- ✓ 叔母が転倒したことにより自宅で安全対策(滑り止めマット、電話機配置)を工夫。

## 5 意見交換

### ① スマサポまつりについて

- ・参加者は従事者・参加者合わせて31名。うち相談件数は6件。質問は基本操作やApple ID、PayPay、請求書など多岐にわたる
- ・メンバーとスマホさえ隊が対応しスムーズに相談は行えた。前半の講座や寄席については「楽しかった」「役立った」という声があった。
- ・周知不足により参加者が少なかった。チラシ配布はしたが届かず、掲示板活用の提案あり  
水曜日開催は参加しづらいとの声
- ・今後も年1回開催を予定。開催場所をマンション単位とするか、広げるか検討。セキュリティ問題を考慮し、外部参加しやすい環境を検討。広報を強化し、掲示板や地域の場で繰り返し告知する。
- ・プログラムを工夫し、次回はスマホ相談と併せて防災をテーマに企画する。防災は関心が高く、消防署との連携も見込める。ロープワークや在宅避難体験、防災ポーチなどこれまでの防災講座の経験を活かせそう。
- ・候補地：晴海スカイリンクタワー（開催の希望あり）、The Tokyo Towers（地域活動に積極的）

### ② 晴海まち歩きマップについて

- ・Canva（デザインツール）を活用したデザイン案を検討中。シンプルな道路表示+解説付きのレイアウトが候補。情報量が多いと地図が小さくなるため、裏表構成（表：地図、裏：解説）を提案。
- ・サイズはA3想定。高齢者が見やすく、バッグに入りやすいサイズの折り方を検討。
- ・公共施設（例：警察署、行政施設）を黄色などで強調。視認性を上げるため、Canvaで利用可能なアイコンを活用（カフェ、パン屋、公共施設など）。
- ・紹介するスポットに番号を振り、裏面に詳細解説と写真を併せて掲載。地図と裏面情報をリンクさせる（鏡配置）。
- ・施設や店舗等に置いてもらえるよう交渉が必要。100円ショップのスタンドなどを用意し低コスト設置。
- ・店名掲載には許可が必要。アイコンと「パン屋あり」程度なら可能では。
- ・印刷部数：過去実績は400～500部程度。外国人観光客が持ち帰るケースがあるため、推奨年齢や利用目的を明記する。
- ・追加作業日を12月19日（金）午後1時～予定。各自タイトル案の検討、担当エリアの解説文・写真選定（1～2か所）。
- ・年度内完成を目指し、春の利用開始を想定。

## 6 次回の予定

次回の協議体は2月下旬予定。